Book Review

マンガでわかる成功へのプロセス 30
歯科医院に本当に必要なこと

高井康博・佐々生康宏　著

B5 判，152 頁
定価（本体 3,200 円＋税）
医歯薬出版刊

Reviewer
水上哲也　Tetsuya Mizukami
（福岡県・医療法人水上歯科クリニック）

Life is very short!　歯科医師人生もまた非常に短いと言われています．30 年，40 年はあっという間に過ぎ去ると多くの偉大な先輩方に教わってきました．しかしながら，その一方で「もう，歯科治療は飽きた」とか「歯科医は飽きた」と愚痴をこぼす人たちもたくさんいるのが現状です．両者では一体何が違うのでしょうか．

本書は漫画形式で読みやすく，多くの内容が適度に凝縮されて書かれています．一見すると開業医として成功するためのノウハウが書かれたハウツー本のように見えますが，実際はそうではありません．内容は非常に重たい項目ばかりです．開業歯科医師としてのマネジメントのあり方を解説する一方で，一つの職業としての歯科医師の在り方や生き方についての著者のフィロソフィーが書かれており，読んでいてはっとさせられます．そして，全体を通してみると医療従事者としての姿勢に多くのページが割かれています．以下，医院としての取り組み，医院経営，スタッフ関係と続きます．これらの項目に熱心に取り組めば，あっという間に時間が経過して，歯科医師に飽きる暇などないはずです．

「患者様」という呼び名が医療をおかしくしたとよく言われています．そして，この呼び名がモンスターと言われる患者を生んできた一因であることは事実でしょう．たしかに，私も開業当初のある時期に“接遇”を一生懸命学んだこともありました．適度な接遇は社会人としてのマナーであり，大切なものであり，それらを学ぶことは成長を促します．しかしながら一方で，過度な接遇は組織にひずみをもたらします．また，接遇はモンスターと呼ばれる人たちの予防や対処には役に立ちません．そして，何よりも接遇のみでは歯科医院は永く信頼されません．このような医療従事者として本当に必要なことを本書は教えてくれます．

苦しい立ち上がりとなった主人公が開業医として成長していくプロセスはきっと多くの先生たちに共感を与えると思います．私自身もその内容に大きく頷くことがなんと多かったことか．若い先生たち，これから開業する人たち，そして開業して頑張って質の高い医療を提供しながら充実した歯科人生を送りたい人たちには，ぜひ本書を読んでいただきたいと思います．

歯科開業医として充実した人生を送りたいすべての人たちに読んでほしい一冊